

平成28年度 教科書採択理由 No.1

教科 発行者 教科書名	国語 三省堂 現代の国語	書写 学校図書 中学校 書写	地理 帝国図書 社会科 中学生の地理	歴史 東京書籍 新編 新しい社会 歴史	公民 日本文教出版 中学社会 公民的分野
取り扱い内容	各領域および「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について内容の関連が図られている。	基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、学習したことを実生活に活用できるような内容が取り扱われている。	社会科の目標を達成する上で、基礎的な知識・技能習得ができ、資料を通じて多面的・多角的な思考判断ができるように図られている。	社会科の目標を達成する上で、基礎的な知識・技能習得ができ、生徒が興味を持って主体的に取り組める構成となっている。近年の史学研究成果も含まれている。	社会科の目標を達成する上で、基礎的な知識・技能習得ができ、生徒が興味を持って主体的に取り組める構成となっている。今日的な課題に対する資料も豊富である。また、生徒が個人の尊厳と基本的人権の意義を正しく認識し、人間尊重の立場で考えることができる内容となっている。
内容の選択及び扱い	発達段階に応じ、繰り返し学習できるように配慮されている。「話すこと・聞くこと」：他者とのかかわり、集団で考え、話し合うといった協働する活動が具体的に示されている。「書くこと」：「話す・聞く」「読む」と関連づけられている。「読むこと」：命や生き方についての認識が深まる教材選択がされている。説明文は図表と関連した読みが意識されている。古典では小学校・高校との関連も踏まえられている。漢字・文法は繰り返して学習できる構成になっている。	硬筆と毛筆を関連づけて学習できるように図られている。学習のポイントが明示され、練習課題によって自学できる。ノートや記録用紙など、他教科の学習に生かせる配慮がある。	「世界各地の人々の生活と環境」では、気候区分について、まず概観を学べるように、工夫されている。領土問題が充実しており、「北方領土」については、領土の変遷が地図を使って表されている。九州地方で、沖縄の特化した記載があり、歴史的・公民的分野の学習へとつながることができる内容となっている。	人権問題においては、本文での記述だけではなく、「歴史にアクセス」「深めよう」等で、「被差別身分」「女性」「アイヌ民族」などの記載があり、深い学びができるように配慮されている。また三重県の実態も書かれている。近代史における、日朝関係の記述が詳細でかつ、朝鮮人の立場に立った日本人についての記述もみられる。	全体を通して、人間尊重の精神を培うことに主眼が置かれている。特に近年盛んに取り上げられている、男女共同参画社会や共生社会の在り方にも詳しく触れられている。「対立と合意」では、現代社会をとらえる見方・考え方が学べるようになっている。
内容の程度	基礎的・基本的な知識および技能を重視している。また、目標と異通しを持ち、学び方を意識しながら学習できるように配慮されている。	美しい自然や明るさを感じさせる参考作品が挙げられ、書きぶりも発達段階に応じたものである。	世界や日本に関する内容をわかりやすく、調べ考えようとする内容になっている。	世界の歴史については、我が国の歴史と関連した出来事を精選して記述している。	ページ下に確認・活用の課題が示されるなど、生徒が自ら調べ方や考え方を学べるよう工夫され、興味・関心をもって主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。
内容の構成及び配列	各単元における各領域のバランスがよい。対話や合意形成、論理的な思考力や表現力を身につける教材が配列されている。カラーのさし絵や写真、図表が効果的に提示されている。つけたい力が明確であり、それらを繰り返し使うことで、3年間を通じて身につけていける構成になっている。「読み方を学ぼう」は、思考法も含んでおり、これからの国語力として身につけさせたい内容になっている。	指書から行書、発展という配列により、前の学習が生かせる配慮がある。姿勢、筆の持ち方など、基礎を写真を用いて解説している。	写真や地図、グラフなどは、基礎的な知識や技能の習得やが図られるよう各地域がバランスよく扱われている。	写真や歴史資料などは、基礎的な知識や技能の習得やが図られるようバランスよく扱われている。	それぞれの学習内容がバランスよく配分され、まとまりがあり、学習しやすい配列となっている。
創意工夫	「読み方を学ぼう」で、何をどう読めば力がつくかが明確に示されており、その内容も近年の国語教育の研究成果が反映されている。情報機器活用についての内容が充実している。新聞・インターネットを用いた情報活用力を育てる内容がある。総合的な言語活動がある。学習目標が示され、チェック枠もあり、自己の向上を自覚できるようになっている。	封書、はがきなど、生徒が文学文化に親しめる工夫がある。手本のかご書きに穂先が通る線があり、わかりやすい。	全編にわたり、人々の生活をとらえた写真が多いことや、インタビュー(話)を記載し、興味・関心を高める工夫がなされている。	図表・グラフに工夫があり、バランス良く配置されている。	毎時間の終わりに学習課題の確認に対応した問題を示すとともに、各編・章末には、生徒が習得した知識と見方や考え方を活用する課題を設けて学力の定着を図ることができるよう工夫されている。
使用上の便宜			写真や資料の読み取り方などの記載が、充実している。	資料・写真ともに見やすく適切である。	学習箇所的位置を確認しながら学習できるよう、インデックスが配られている。
その他					

平成28年度 教科書採択理由 No.2

教科 発行者 教科書名	地図 帝国図書 中学校社会科地図	数学 啓林館 未来へひろがる数学	理科 啓林館 未来へひろがるサイエンス	音楽 教育芸術社 中学生の音楽	音楽 教育芸術社 中学生の音楽
取り扱い内容	社会科の目標を達成する上において、地図や写真、統計などを活用し、自ら資料を読み取ったりしやすいよう配置させている。	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める数学科の目標を達成する上において、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、生徒が自分の考えを説明したり、他者の考えを理解したりする力を育むことができるよう配慮されている。	生徒が目的意識をもって観察実験を行い、科学的に探求する能力の基礎と態度を身につけるとともに、科学的な見方・考え方が身につくよう配慮されている。	教育基本法に定める教育の目的、目標など、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める音楽科の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うという点において適切かつ効果的である。	教育基本法に定める教育の目的、目標など、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める音楽科の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うという点において適切かつ効果的である。
内容の選択及び扱い	世界の国々、日本の諸地域における自然、産業、人口などに関する地図資料が適切で、基礎的な知識・技能が身につくようになっている。	全国学力・学習状況調査に対応した内容が工夫編成されている。具体的には事例を事実、方法、理由に分類し説明する問題を中心に取り上げ、数学的な思考や表現力を伸ばすようにしてある。	各章末や各単元末において、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるように配慮されている。教科書の展開の部分において、思考力・表現力などが育成され、科学的な考え方が身につくよう配慮されている。教科書の随所に、身の回りで見られる現象を多く取り上げることで、生徒が自然体験や日常生活と関連づけて学習できるように配慮されている。他教科での学習事項や環境保全・生命の尊重について扱うなど、他教科や道徳との関連に配慮されている。習得した知識や技能を活用できるように配慮されている。発展的な内容において、学習した内容を深めつつ、興味を引く話題から生徒の探究心が高められるよう配慮されている。	音楽科の各領域(表現・鑑賞)において、各学年の重点事項を中心に多様な学習活動を系統的に指導できる内容となっている。歌唱教材については、各学年の目標や実態に合わせて、発達段階に応じて弾力的に活動できるように配慮されている。また鑑賞教材では幅広いジャンル、時代に即した身近な音楽を扱っており、親しみやすい構成になっている。	音楽科の各領域(表現・鑑賞)において、各学年の重点事項を中心に多様な学習活動を系統的に指導できる内容となっている。それぞれの教材には基礎的・基本的な知識及び技能を習得するために具体的な学習のポイントが示されており、3年間を通して学習が広がり、深化・発展するよう配慮されている。
内容の程度	記載されている地名は精選されており、字の大きさも適切である。	生徒の発達段階を考慮した表現を用いて、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に重点をおき練習問題や復習問題が設けられている。また、問題の程度も適切であり、単なる知識・技能の詰め込みとならないよう、生徒がそれらを活用する場面を充実させている。	生徒の心身の発達段階に応じて課題が設定されており、生徒が興味をもって学習に取り組める内容となっている。	歌唱教材について、学年に応じた適切な音域に配慮するとともに、一人一人が無理のない豊かな表現活動ができるよう工夫されている。また、命・仲間の大切さを感じ取り、心を養うことができる教材を多く取り入れている。	各学年の発達段階を踏まえながら、歌詞・楽曲ともに中学生にふさわしい内容に精選され、楽しく学習できるようになっている。さまざまな音楽にふれながら学習が深めることができるよう工夫されている。
内容の構成及び配列	地域ごとの基本図の後に、各種資料が細かく使われている。	指導内容をまとまりのある章で構成し、相互の関連や生徒の心身の発達段階を考慮し、学習が自然に進められるよう配慮されている。	各単元と既習事項との関連を明らかにし、その系統性の中で生徒が課題解決をしながら発展へと学習を進めていけるよう構成されている。挿絵、写真、図表などの表記が適切であり、それらが各ページに効果的に配置され、生徒が学習を進めていく上で有効活用できる構成となっている。	音楽科の各領域の系統的な学習活動が行えるとともに、学校の実態に応じて、表現と鑑賞の割合が調節でき、生徒にとって無理のない弾力的な学習活動が行えるようになっている。合唱に関する選曲や編曲は多様な編成で、変声期を考慮し、無理なく楽しく歌える内容構成になっている。	音楽科の各領域の系統的な学習活動が行えるとともに、学校の実態に応じて、表現と鑑賞の割合が調節でき、生徒にとって無理のない弾力的な学習活動が行えるようになっている。楽典の理解など、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように、巻末にわかりやすくまとめられている。
創意工夫	地図の基本図には、「隣接ページ」により、続きの地図のページが示されており、調べやすくなっている。	「自分のことばで伝えよう」、「みんなで話しあってみよう」、「自分の考えをまとめよう」を設けて、言語活動の充実を図り、根拠をもって説明する力を育むよう配慮されている。また、「数学を通して考えよう」を設け、数学における読解力を育むような工夫がされている。	観察実験では、課題を明確にし、着眼点を示し、方法をまとめ、生徒が目的意識をもって主体的に観察実験ができるよう工夫されている。観察実験についての予想や計画などを作図や記述を通して整理し、観察実験結果を分析して解釈する能力が養えるよう工夫されている。レポートの書き方などを例示して、表現する能力を育てよう工夫されている。随所に生徒の知的好奇心や探究心を高め、科学的に調べる能力や態度を育むよう工夫されている。各単元のはじめとおわりに、既習事項の確認やその系統性の確認をすることで、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。	音楽を聴いたり演奏したりして感じたことを書き込む部分があり、音楽を通して生徒の言語活動を豊かにすることができるよう工夫されている。	楽器への憧れや思いを引き出すように、第1線で活躍しているプレイヤーの写真を使っている。
使用上の便宜	色彩的に鮮やかで、地形などの読み取りがしやすい。	B5サイズの大きさと、全てのページでカラー刷りが効果的に用いられ、生徒が興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。また、ページの右端に余白を広く設けて1行の文字数を減らし読みやすいように一定の余白が確保されている。	同じ学年で関連する学習のページを示すことにより、学習内容の関連性がわかりやすくなっている。独自のマークを複数設定したり、文字のフォント等を変えて課題を示したりするなど、内容がわかりやすくなるよう工夫されている。また、指示薬の色の変化等、色の違いだけでなく文字でも説明するなど、見やすく理解しやすいように配慮されている。	楽譜が見やすく鮮明で、紙質やレイアウト、挿絵などのデザインも見やすく工夫されている。	学習内容や活動の手順が理解しやすいように、文字や図や写真を効果的に掲載している。
その他		関連事項やつながりのあるページ数などが、ページ内に書いてあり、わかりやすい。	観察実験を行う際に、とくに注意することを複数のマークによってわかりやすく示すことで事故防止を促すなど、安全に配慮されている。廃液の処理については「廃液処理」マークで示したり、各単元では「環境マーク」をつけた話題などを多数取り上げたりすることで、自然環境への意識を高め、また、その保全の態度を養うよう配慮されている。各学年の地学的領域の中で、自然がもたらす恵みと災害を扱い、自然を大切にすることを養うとともに、防災・減災の意識が高められるよう配慮されている。		

